

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	13	学校名	仙台市立 南小泉小学校	校長名	菅澤 美香子
------	----	-----	-------------	-----	--------

1 取組のタイトル、テーマ

自分たちの暮らしとエネルギーや環境のつながり



2 取組の紹介

南小泉小学校では、総合的な学習の時間にエネルギー環境教育を取り入れています。4年生では「様々な発電方法」について学習をしてきました。5年生では、「チャレンジ！省エネ」というテーマを掲げ、身近なエネルギーや環境についての課題に気付き、調べ学習を通して自分の考えを持ち、友達と協力して行動していく児童の育成を目指して取り組みました。

4年生は、「住みよい町ってどんな町」というテーマを掲げ、人々が住みやすいと感じる生活には、電力が必要なものが多いことに気づきました。それぞれの発電方法のメリットやデメリットを比較し、南小泉周辺で実現可能な発電方法について考えました。また、どの世代にとっても住みよい町について考える学習にも挑戦しました。

おすすめな発電方法 水力発電

メリット

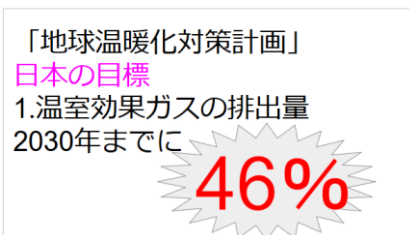
- 環境に優しい
 - 海外の資材を使わない
 - 発電にかかるコストがやすい
 - エネルギーのへんかん効率が高い
 - 再生可能エネルギー
- 理由
環境に優しいから

お年よりが住みやすい町って？

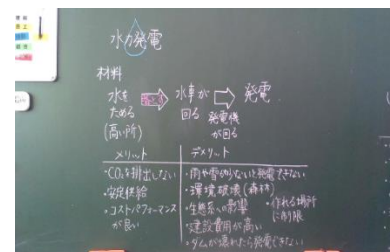
- 病院が近くにある
- スマホやパソコンなどの教室
- お店が近くにある
- スロープを設置する
- 建物の階段に手すりを設置する
- 建物のドアが自動ドアになっている
- 老人ホームが近い
- トイレなどの蛇口をセンサー式蛇口にする



5年生は、「チャレンジ！省エネ」というテーマを掲げ、省エネに関連した取り組みについて学習しました。長期休業期間には、自分たちで実践できる省エネの取り組みにチャレンジしました。また、持続可能な社会を実現するためには、どのような発電方法が必要になるのかについても考えを深めることができました。



国土交通省は省エネに向けて、
道路照明のLED化の整備を進めています。
LED照明は交換回数が少ない
→製造、販売で排出される二酸化炭素が
削減！
省エネ化...石油や石炭など限りあるエネルギー資源がなくなってしまうことを防ぐため、エネルギーを効率よく使うこと。



3 取組の成果（児童生徒の変容）

学習意欲が高く、知識が豊富な児童が多いです。知っている知識に加え、考える学習を多く取り入れることで、子供たちが知識だけでなく想像力を働かせながら学ぶことができました。その結果、学んだことを基にして友達の話し合いの中で考えを伝え合ったり協力したりする姿がより多く見られるようになりました。子供たちそれぞれが、省エネについて興味・関心の幅を広げ、これからの生活に生かしていこうという考えを持つことができました。